



廣井博士記念日の墓参

明治、大正、昭和を通じて我技術界に最も偉大なる人格的存在の一人であつた、廣井勇博士の永眠後、本年の十月一日はまさに第六年目の記念日である。

博士永眠後は其偉徳を思ふ人々により、毎年十月一日を期して郊外武蔵野の多摩墓地なる博士の靈域を参拜しつつあるが、本年は特に多数の参拜者があつて、墓前は時ならぬ賑を呈した。

當日は博士未亡人綱子氏令息剛氏を初め親戚の現鐵道次官久保田敬一氏其他の方々も早朝より参拜され、清掃されたる墓域には生野團六氏より贈られたる生花も供へられ、多数の参拜者と俱に敬虔なる墓前の會合をして一層聖ならしむるものがあつた。

老齡なる名井九介博士及び那波光雄、眞島健三郎、大井上前雄、阿部美樹志、田中豊等の諸博士を初め官民著名の技術家數十名の参拜があつた。

特に北海道から土木部の伊藤長右衛門氏、及び中村廉次氏等の参拜せらるゝあつて一層意義あるものであつた。特に當日は遺族を代表して久保田敬一氏より御挨拶があり、兼て米國より歸朝された博士の長男剛氏を紹介された。

十月一日に故廣井勇博士を思ふの會合は單に此の

東京に於ける墓参會のみでなく、北海道は申すに及ばず、世界の各地に於て假令二人三人にても會合せられ度いものである。多忙なる我々の技術生活に於て、せめて此の日の半日でも偉大なる博士の追憶を新にし、日つ多少でも博士を語り合ふ事は、また我々向上生活の一部であると思ふ。

寫眞は當日廣井博士墓前に於ける参拜者で、寫眞に向つて右より。前列座せるは杉本好太郎氏、伊藤長右衛門氏、樺島正義氏、竹股一郎氏、眞島健三郎博士。二列目、那波光雄博士、野口寅之助氏、山崎匡輔氏、川口愛太郎氏、三浦宇三郎氏、小清水義男氏、杉廣三郎氏、名井九介博士、遠武勇熊氏、吉村惠吉氏、安倍邦衛氏、田中豊博士、永田民也氏、平井喜久松氏、村瀬花之亮氏、上段博士令孫勇剛氏、其背後に大井上前雄博士、同夫人、久保田氏夫人、次の青年は久田敬一氏令息廣氏、博士令嬢京子氏、博士未亡人綱子氏、久保田敬一氏、廣井剛氏、博士令孫吉子嬢、大井上前氏夫人、大井上前氏。

尚ほ寫眞外の人に中村廉次氏、阿部美樹志博士、池邊稻生氏、關毅氏、楠英三郎氏、小野常治氏、佐々木哲二氏、岡田虎介氏、岡崎保吉氏等があつた。